

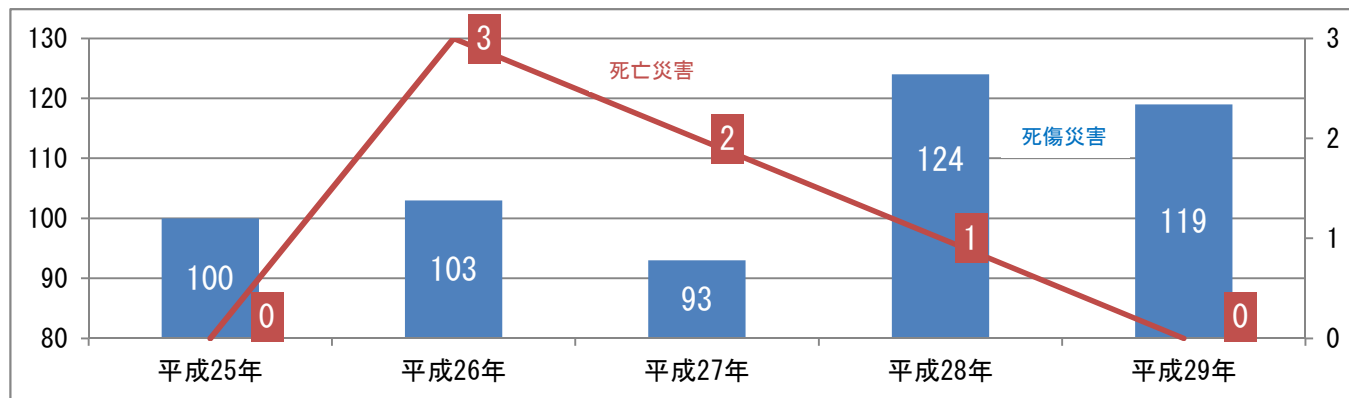
ストップ 労働災害！

徳山労働基準監督署

徳山労働基準監督署管内の労働災害は高止まり状態！

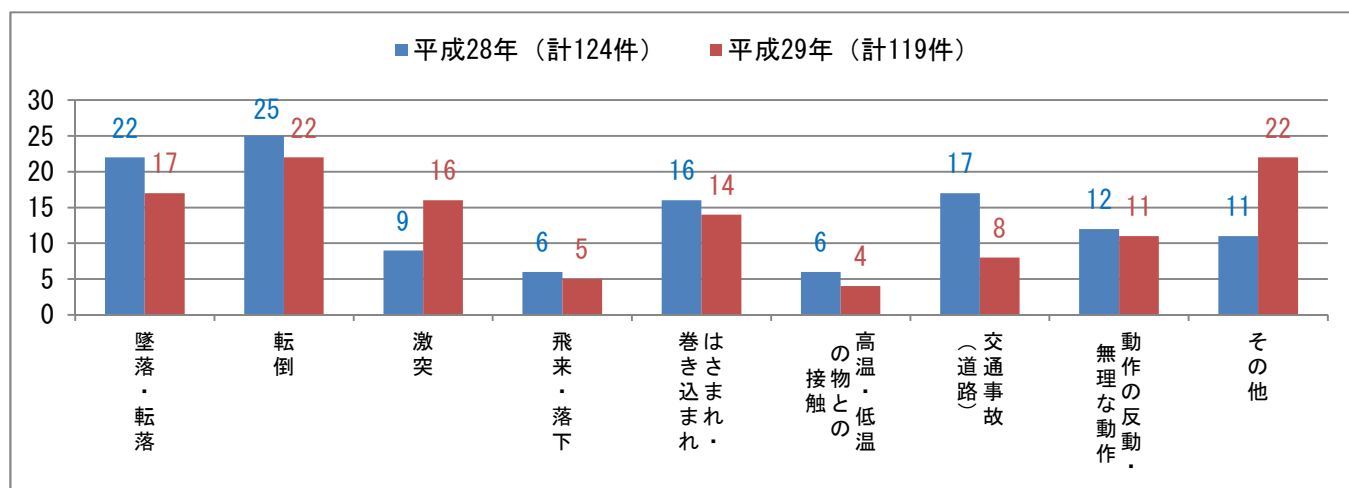
1 過去5年の発生状況

(労働災害件数は休業4日以上之死傷災害)



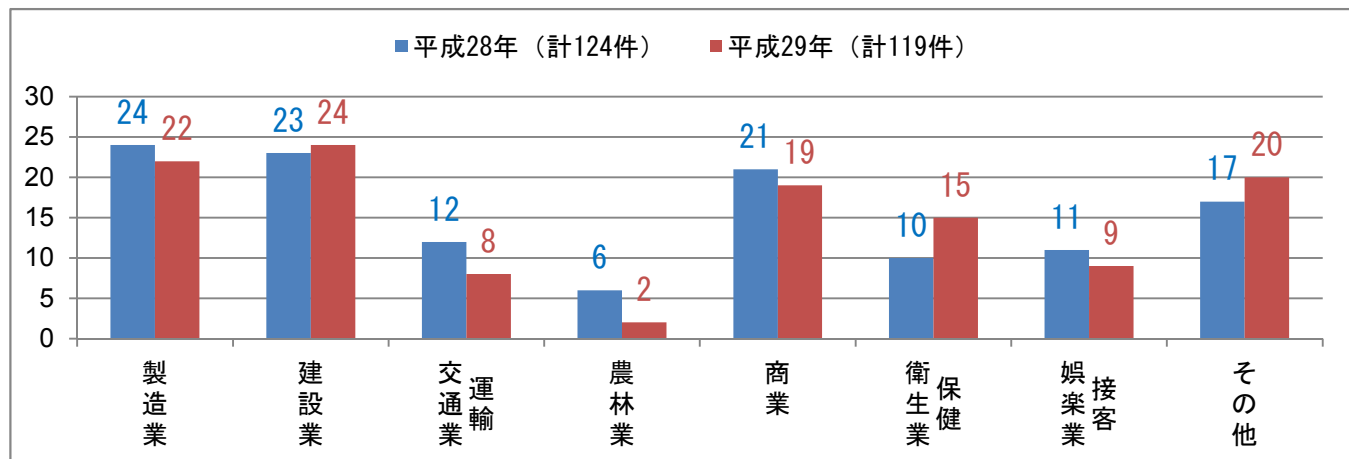
減少傾向から増加に転じ、高止まり状態が続く。

2 事故の型別でみた発生状況



転倒が一番多い。激突が急増。墜落・転落、はさまれ・巻き込まれが高止まり。

3 業種別にみた発生状況



運輸交通業、農林業の減少幅は大きいものの、保健衛生業が大きく増加。

はさまれ・巻き込まれ災害の防止について

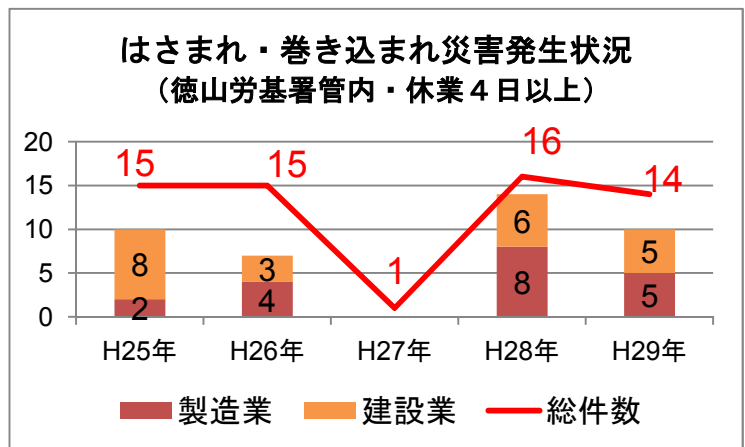
徳山労働基準監督署

1 徳山労基署管内での「はさまれ・巻き込まれ災害」の発生状況

平成 29 年は平成 28 年から 1 件の減少にとどまりました。

業種別でみると、製造業と建設業の割合が多く、それぞれ全体の 3 割以上を占めています。

作業内容では、クレーンの使用中、つり荷などとの間に手指をはさまれる災害が目立ちました。



2 徳山労基署管内での昨年 (29 年 1 月) 以降の発生災害事例 (抜粋)

業種	発生状況	休業見込
製造業	クレーンで荷(約 450 kg)をつり上げたところ、荷が落下したため、とっさに手を出し、荷とバルブスタンドとの間に指をはさまれ骨折。	3 か月
製造業	クレーンで荷(2 t)をつり上げて移動させたところ、荷が振れたため、とっさに手を出し、荷とパイプとの間に指をはさまれ骨折。	半月
建設業	ダンプに積んだ敷鉄板(約 300 kg)をクレーンでつり上げて枕木の上に置くとき、敷鉄板と枕木との間に指をはさまれ切断。	1 か月
製造業	プレス(75 t)で加工中、特殊品の依頼が入ったため、光線式安全装置を取り外して加工後、そのまま元の工程に戻った。製品の不具合を確認中、フットスイッチに足がかかり、金型に手首をはさまれ不全切断。	3 か月
製造業	ローラー(約 100℃)の清掃中、ローラーとベルトコンベヤーとの間に腕を巻き込まれ熱傷(深度 2~3 度)。	1 か月

- 安全装置は、必ず取り付けてから作業を行いましょう。
- 機械の清掃、調整等を行うときは、機械の運転を確実に停止しましょう。
- クレーンで荷をつり上げるときは、地切り後に一旦停止し、必ず、つり荷の重心バランスを確認しましょう。
- クレーンで荷を移動させるときは、小刻みな加速運転で荷振れを防ぎましょう。
- つり上げた荷を着地させるときは、直前に一旦停止し、必ず、荷の着地面の状況とあわせて添えている手の位置に注意しましょう。



徳山労働基準監督署

「墜落・転落」は重大な結果を招きますが、2メートルを超えるような高所における手すり等の措置は概ね行われています。

墜落・転落災害発生状況
(徳山労基署管内・休業4日以上)

業種	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
製造業	2	1	3	5	3	2
建設業	6	9	4	6	3	7
運送業	2	2	3	0	3	3
総件数	19	17	18	18	22	17

年	業 種	発 生 状 況
29 年	清掃業	階段上で壁の清掃中に段差に足を滑らせて転落（打撲）。
	建築業	移動足場の梯子を降りる際に足を踏み外して落下（骨盤骨折）。
	設備工事業	保温材復旧のため上がっていた設備から降りる際に足が滑って転落（手首骨折）。
	建築業	住宅新築工事中の2階床から足を踏み外して墜落（腰椎骨折）。
	設備工事業	足場から脚立の天板に移る際に体勢を崩して転落（手・肩骨折）。
	警備業	交通誘導中に路肩を踏み外して転落（頸部・打撲）。
	電機販売業	2人で冷蔵庫を運搬中に階段を踏み外して転落（脊椎骨折）。
	設備工事業	足場解体作業で休憩移動中、手すりを外した階段で足を踏み外して墜落（手骨折）。
	清掃業	脚立に上がって荷を両手で抱えた際にバランスを崩して落下（足骨折）。
	運送業	プラットホームの階段を荷を持って降りていて足を滑らせ落下（腰部骨折）。
	建築業	足場上から建物を確認しているとき足を踏み外して転落（腕、肋骨骨折）。
	畜産業	フォークリフトを降りようとして足が滑って落下（肋骨骨折）。
	建築業	脚立の最上部に立って壁の板を外しているとき、バランスを崩して転落（肩骨折）。
	運送業	トラック荷台を降りる際にステップを踏み外して転落（肩関節脱臼）。
30 年	資材加工	トラック荷台から降りるとき、足を滑らせ転落（肩胛骨骨折）。
	化学工業	タンクローリーのハッチを開ける際、エア一音に驚きよろけた拍子に落下（腰部骨折）。
	運送業	プラットホームから荷台に乗り込む際、足を滑らせ落下（足挫創）。
	ホテル業	ベットに上がって天井を清掃後、降りるときに足を滑らせて落下（踵骨折）。
30 年	食品製造業	物を取るため調理台に上がった後、降りようと椅子に足を乗せたときに椅子が動いてひっくり換えるように転落（手骨折）。
	建築業	型枠解体中、未固定の歩み板に乗って天秤状態となって落下（足・肩骨折）。
	運送業	トラックの荷台上で積み荷の養生中に足を踏み外して転落（骨盤骨折）。

- 足場等高所における作業床での作業中はもちろん、移動時における墜落・転落も起こりうることを想定した手すりや安全帯等の確保を確実に行いましょう。
- 階段や脚立では出来るだけ両手を塞ぐようなことはさげましょう。
- トラック荷台から降りるときは滑らないよう慎重に移動しましょう。

正しく使おうフルハーネス
(建設業労働災害防止協会)



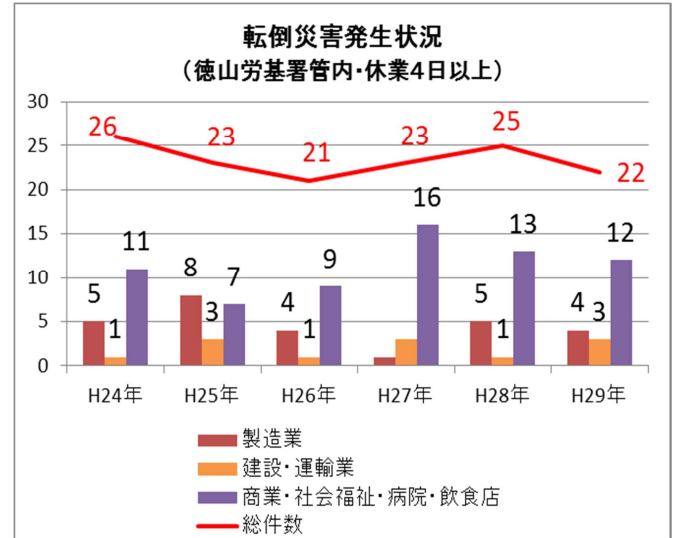
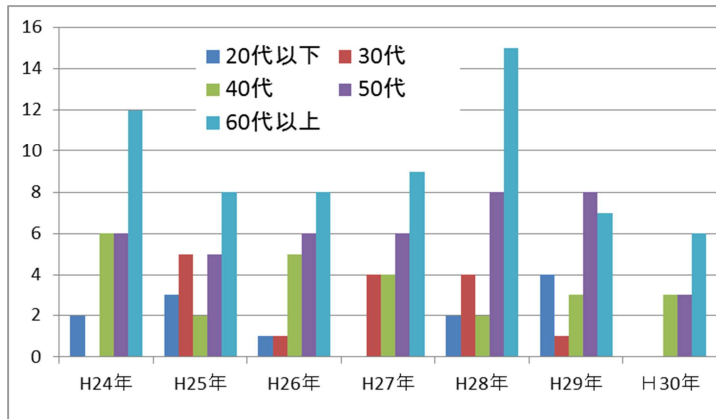
転倒災害の防止について

徳山労働基準監督署

1 徳山労基署管内での「墜落・転落災害」の発生状況

転倒災害はあらゆる業種で発生していますが、近年、商業や社会福祉施設、病院、飲食店などで増加しています。

また、被災者の年齢を見ると、60歳代以上の高齢者で多く発生しています。



2 徳山労基署管内での昨年（29年1月）以降の発生災害事例（抜粋）

年	業 種	発 生 状 況
29年	飲食店	調味料をカウンターに運ぼうと急いだため、足が滑って転倒（足首骨折）。
	娯楽業	床で転倒し、ついた手を床の格子網で切創。
	食品加工販売	荷を抱えて移動中、床の突起（コードの覆い）に躓いて右膝を強打（骨折）。
	小売業	冷凍庫から出る際、凍った床で転倒（腰・頭部打撲）。
	貨物取扱	温室内の片付け作業中、水たまりで滑って腕を骨折。
	食品製造業	食材を乗せたワゴンを走って押していて、角を曲がりきれずに転倒（手首骨折）。
	小売業	店内からバックヤードに移動する際、ドア近くに放置のキャリアボードを踏んで転倒（手首骨折）。
	食品製造業	製品を両手で抱えて移動中、フォークリフトのタイヤの汚れ防止用マットのめくれた箇所を踏んだ（膝骨折）。
	小売業	清掃のために蓋が外してあった溝に足を落として転倒（手首骨折）。
30年	小売業	店内通路で同僚とぶつかりそうになって急に立ち止まったとき、足が滑って転倒（手首骨折）。
	社会福祉施設	職員の通用口のスロープが寒さで凍結しており、滑った（手首骨折）。

- 移動中は、大きな荷を抱えるなど両手をふさがないようにしましょう（台車を利用）。
- 床や通路、出入口には物を置かず整頓に心掛け、床面の溝を点検するなど一時的に危険な状態となる場合は躓かないよう表示などしましょう。
- 床面の水・油や凍結など滑りやすい状態を見つけたら、直ぐに対策しましょう。

加えて、転倒して周囲の設備で頭をぶつけた、手を切ったとした事例もあるので、

- 転倒した場合に大きなケガにならないよう、棚の角や機械の突起部、ガラス戸など周囲の危険物への対策に気を配りましょう。